

● 6月21日(月) 晴 小樽上陸 ～ 札幌岳

・実に穏やかで静かな航海を終えて、早朝まだ明けやらず、どんよりと曇り、すっぼりと霧に包まれた小樽港に入港した。小樽港入港は3回目になるが今年が一番天气が悪い。

4:40 下船、さてこれからどうするか。例年通りひとまずフェリーターミナルに寄ってサンドイッチの朝食をとりながら作戦を練った。

・天気は思わしくないが、まだ朝早い。とりあえず予定通り札幌岳へ登ることにしてフェリーターミナルを後にした。



・登山口は昨年下見してあるのですぐわかった。定山溪温泉の奥にある。6:09に登山口に到着。天気は曇っているがかなり明るい。駐車場には車も人もだれもいないが蚊の大群が大歓迎してくれた。静止するとたちまち蚊が群がってくる。



札幌岳登山口

・「札幌岳」：どうしてどうして馬鹿に出来ない大した山だ！ アプローチは長いし、急坂はあるし、ガレ場もあるし、とにかく蚊が多い。今回用意して来た防虫ネットが大成功だ！

・こんな山だが花は多い。まずサイハイランやコケイランをはじめいろいろなランが出迎えてくれた。オドリコソウ、ズダヤクシュ、レイジンソウ、サンカヨウ、エンレイソウなど、もちろんマイズルソウはあるし、サイハイランも咲いていたツバメオモトやニンソウも咲いている、しかし蚊が多い！



・今にも降りそうな空で、北海道とはいえめちゃくちゃ蒸し暑い。Tシャツ一枚だが汗が噴出し滴り落ちている。途中 冷水小屋で一休み(といっても蚊の大群に襲われゆっくりしてられない)。急坂を登って9時半に山頂に到達した。雨を覚悟して登ってきたが結構天気は良くなり、北には余市岳が見える。羊蹄山や札幌市街は雲に隠れて見えないが時々日も差すほど。



札幌岳山頂



雲は多いが余市岳方面が望める

・誰も居ない山頂でゆっくりし10時に下山を始めた。途中2パーティーに出会ったが、皆蚊の襲撃に閉口しており、完全防備の私を見て驚くやら感心するやら。

この防虫ネットのおかげで途中で出会った花々を心行くまで撮影できた。

・12時20分に駐車場着。暑さで汗だく、持っていったお茶とアクエリアスのボトルは山頂で飲み干してしまい、水無しで下ったので喉がカラカラ。お茶とアクエリアスのボトルをあらたに一気に飲み干した。途中陽も差したのに駐車場に着いたら突然雨が降り出した、それも結構強い降りだ。車内で昨日新潟のセブンイレブンで買ってきた肉サラダラーメンで昼食をとり、腹ごしらえをして、次はとにかく風呂だ。

・10km余走って定山溪温泉の日帰り湯へ。「小金の湯」なる立派な日帰り温泉を覗いたが、900円も取るので驚いて隣の温泉旅館「まつの湯」へ。ここは500円で良い風呂だ。ゆっくりと汗を流して疲れを取った。そのうちすっかり雨も上がって天気が回復してきた。

・今晚の宿泊予定地「ルスツ」へ向かって車をはしらせた。ルスツの駐車公園でとにかく今日の汗みどろの服を洗濯したい。幸い真夏の太陽が顔を出してきた。3時過ぎにルスツ着。早速駐車公園の炊事場で洗濯を開始。洗濯物を干しながら、まだ早いビールを飲みはじめリラックス。昨年来たとき「ここは大人気で駐車場はいつも取り合いだ」と聞いたこの駐車公園がなんと車は一台もないガラガラ状態。まだシーズンではないからだろうか。今日はここに泊まる予定だったが車は私一台、あまりにも寂しいので隣の道の駅に移動した。ここもメチャ広い駐車場にほんの数台しか止まっていないが、さっきの駐車公園で私一台というよりはましだ。夕食後のコーヒーを沸かしのんびりと日記を書いている。今6時天気は曇っているが、明日は回復するとの予報だ。明日の予定は風不死岳、過去二回も挑戦したが何時も雨で中止してきた。三度目の正直でやっと登れるだろうか。期待して寝床に入った。

・今日の初日は結構充実した良い日だった。これから長い「北海道山紀行」が始まる。

● 6月22日(火) 快晴 風不死岳(1103m)

・昨夜は少々涼しくて熟睡できなかった。若干眠い。

朝4時起床。回りを見ると広い駐車場に3台しかとまっていない。夜中は月も出ていたが今はうっすらと曇っている。天気予報では「日中は天気が良く安定している」とのこと、期待しよう。洗面の後、レタスサンドと牛乳で簡単に朝食を済ませ5時に出発した。目指すは風不死岳。途中大滝の道の駅「フォレスト276」に寄って用を済ます。ここ道の駅「フォレスト276」の夜間トイレは小さい掘っ建て小屋でみすばらしいが、隣に「きのこ王国」の大きな店が建っており、ここのトイレがきれいで大きくて、おまけに24時間解放してくれている。当然「きのこ王国」のトイレを使うことになる。峠を越えて支笏湖畔まで来ると雲がきれて青空が顔を出してきた。これは幸先がいいぞ！

・6時半に樽前山登山口駐車場に到着。車は私を入れて3台。私の隣、釧路ナンバーの車ではちょっと太めの女の子が一人で登山の準備をしていた。「どちらへ登るの?」「樽前山へ」「私は風不死岳へ登るけど、時間もあるし天気も良さそうだから、足をのぼして樽前山から風不死岳まで来たらどう」と言って、私は風不死岳の登山口、彼女は樽前山の登山口へと別れた。

・天気はすっかり晴れ上がり、雲一つない快晴となった。あたり一面にイソツツジ、マルバシモツケ、イワヒゲ等々の花々が咲き乱れる実に快適な登山道を独り占めしてルンルン気分であつた。樽前山の火山のザラザラ道と分かれて風不死岳への登山道に入ると木々が多くなり林の中の気持ちの良い道となった。足下にはハンショウヅルやハクサンチドリが咲いていて、イチヤクソウ等もひょっこり顔を出す。



道の駅「ルスツ」の朝



釧路のお嬢さん、入山届けを記載中



風不死岳への道・お花畑



ハンショウヅル



イチヤクソウも顔を出した



南には活火山の樽前山が



風不死岳の後ろには恵庭岳の山容が

・簡単に登れる山かと思ったが、どうしてどうして、山頂までに偽のピークが4つもあり、ガレ場に急登が何カ所もあってなかなか手強い山だった。頂上かと思えばまた先にピークが
ありの連続、極めつけは最後のピーク・頂上だ。取って付けたようなちょこんとしたピークだが
岩場の急登だった。まいったぜ！！山頂からの展望はすばらしい。南を見れば草木の全くない
樽前山の活火山が悠然と聳え、北側には足下に支笏湖が広がりその向こうに恵庭岳がかすんで



眼下には支笏湖・対岸には恵庭岳が聳えている

見える。黄色の花を満開に付けたウコンウツギが支笏湖に映えて美しい。
山頂に私一人、このすばらしい眺めを独り占めで満喫した。

・下り道で私の誘いに乗ってやってきた例のお嬢さんが下山しているところに会った。樽前山から風不死岳へやってきたがガレ場が怖くて登るのをあきらめ下っているとのこと、一緒に下ることになった。彼女は樽前山の東山を登ってそのまま風不死岳へ来たというので、まだ時間も早いし天気も良いので西山を回って帰るといいとアドバイスして、途中樽前山との分岐で別れ、私は今日登ってきたお花畑の中の道を登山口へと下り11時30分に駐車場に着いた。



帰り道も楽しいお花畑の中

・何しろ暑くて汗まみれ、汗を流してから昼飯にしたいと、昨年寄った記憶のある支笏湖休暇村の駐車場へ車を走らせた。記憶通り駐車場にはトイレと水道設備があったので、早速身体を拭いて着替えた衣類を洗濯した。衣類を天日に干しながらゆっくり昼食、と言ってもおにぎりや飲み物だけ。今日の宿泊予定地の千歳へ向けてでかけた。この道は毎年何回も走っている通り慣れた道だ。まず今日の汗を流すため、ここも通り慣れた恵庭の温泉「ラフォレ」へ。今年も380円と安いし実に良い湯だ。ゆっくり疲れを癒してから毎年お世話になっている道の駅「えにわ」へ寄ってみたが、火曜日というのに人でごった返して車も満車状態、ものすごい混雑だ。ただトイレもきれいだし諸設備も充実しているし、水道設備もあるので、今日の宿をここに変更。洗濯をして、休憩所でパソコンを開き今日の写真整理やメールをしているうち日も傾きやと涼しくなってきた。車もだいぶ減ってきたので毎年止めているいつもの場所に車を止め宿泊の準備。フードセンタで買い込んだ食料で乾杯し、やと快晴の元で念願が叶った風不死岳登頂と美しい花々に迎えられた今日の日を振り返りながら眠りについた。



道の駅「えにわ」の泊は毎年場所が決まっている